

年頭にあたって

和寒町長 伊藤 昭宣



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい平成十九年の初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から町政に對する温かいご理解とご協力に感謝を申し上げます。

昨年一月の和寒町長選挙において、町民皆様の多大なご支持と心温まるご厚情を賜り町長の任につくこととなり、皆様のご期待に応えるべく、この一年町政の進展に努めてまいりました。

は、住民の生活はもとより地方自治体の財政に大きな影響を及ぼすものと大変憂慮いたしているところでもあります。昨年を顧みますと、日本の景気の動向は高度経済成長期の「いざなぎ景気」を抜き、戦後最長の景気拡大となるのが現実になるといわれておりますが、北海道とりわけこの地域においては、依然厳しい景気状況下であり、さらに地方交付税や国庫補助金の削減など三位一体の改革は、

本町の基幹産業であります農業におきましては、春先の天候不順など大変心配しておりました。しかし、その後の好天により農作物も順調に生育し、豊穰の秋を迎えましたが、米をはじめとする農産物価格が低迷しており、農業者の皆さんの経営に与える影響が懸念されるところであります、今後の価格回復を切に願うところであります。

「第三次行政改革大綱」及び「第四次総合計画・後期推進計画」の実施初年度となった昨年は、自治会移行に向けた各行政区での説明会をはじめ、指定管理者制度の推進、使用料・手数料の改正など、本格的な行政改革に取り組み、この間、町民の皆様には各分野において貴重なご意見・ご提言を賜り、今後のまちづくり等に反映していく所存であります。また、厳しい財政状況ではありますが、公営住宅の大規模改修事業、商業振興店舗近代化事業などを予定どおり遂行できました。

今年も、交付税の減額などが予想されますが、豊かな自然・環境に恵まれた立地条件を活かしながら、福祉、教育、産業の振興に町民の皆様の一層のご協力とご理解をいただきながら、「元氣なまち和寒町」を目指し全力で邁進してまいります。

希望に満ちて迎えた今年が町民の皆様にとって限りなく明るいな年になりますようご祈念申し上げます、念頭にあたってのご挨拶と致します。

